



JAAP写真展 公募作品募集

Photography by Hiroshi Seo

日本航空写真家協会（JAAP）では、写真展「SKY GRAFFITI 2017」を開催します。これは、航空を活動の場とするプロ写真家の、2年に一度のグループ展です。

会期は、2017年9月15日（金）～9月21日（木）、会場は富士フィルムフォトサロン東京・スペース2となります。

大阪展につきましては、現在日時を調整中で、まもなくお知らせできると思います。

国土交通省航空局が主導する「空の日」をふくむ会期に開催出来ることは、かねてよりJAAPの希望ではありましたが、一般公募作品に優秀作が多く集まり、ご観覧いただく皆様が増え、回を重ねるごとに注目される写真展になってきたためだと感謝しております。

今回も一般の飛行機写真愛好家の作品を募集し、審査の後、優秀作を展示しますので、ぜひとも力作をお寄せ下さい。この写真展は多くの方々に「飛行機を撮る」面白さや素晴らしさをお伝えできるよい機会だと思います。

展示作品は、JAAP 会員・会友と同じサイズの写真で展示します。以下の応募要領にしたがってご応募ください。

応募作品のサイズは昨年展からサイズを大型化しており、A4サイズのプリントとします。展示作品は特段の意図がないかぎり、基本的に縦横比率を2：3のフォーマットとして制作します。通常のデジタル一眼レフカメラのファインダーと同様です。それに従い、応募作品についても、若干の余白があってもかまいませんので、この比率でプリントしていただけたら幸いです。

すべての作品の裏面には、専用の応募票を添付してください。応募票は JAAP ホームページ内にある PDF ファイルをダウンロードし、それをプリントアウトのうえ、必要事項を記入し、下記宛にお送りください。なお、応募作品は返却いたしませんので、ご了承ください。

展示作品に選ばれた方には、JAAP 事務局からお知らせしますので、オリジナルのフィルム、もしくは CD などに焼き込ん



〔左〕 旭川の朝到着一番機。D5 200-500mm（260mm）, f/9 1/500, S, +0.3, SO160

〔右上〕 伊丹の定番、明るいレンズで。D5, 105mm, f/1.4, 1/200, M ISO4000

〔右下〕 ラスベガス、スフィンクスの目線の先に。D810, 500mm, f/9, 1/320, S, ISO100

ご案内します。

なお、「SKY GRAFFITI」展では毎回、会員・会友の展示作品を絵はがきにして会場で販売しています。今回展から、一般応募の展示作品についても、ご希望があれば制作コストをご負担いただき、絵はがきを制作・販売します。

優秀作として例年選ばれる方につきましては、例年若干名の会友への推挙があります。会友の作品については、その作家性の高さを認め、JAAP 展では無鑑査で展示しています。

どうぞ奮ってご応募下さい。

応募作品送付先：

〒150-0036 東京都渋谷区南平台町 12-9

（株）和航内 JAAP 事務局

TEL 03-3464-7859

応募サイズ：A4 プリント

応募点数：一人5点以内

応募締切：5月31日

だデジタルデータを改めて事務局へお送りいただきます。デジタルデータの必要事項につきましては、入選通知とともにお知らせしますが、プリントサイズの関係上、長辺で4,000ピクセル（200dpi 長辺 500mm）が必要となります。

展示プリントのサイズは全紙です。制作費についても会員・会友と同じ扱いで、入選者のご負担とします。

プリント制作は、国際規模の写真展などのプリントを多数手がける専門ラボに依頼し、制作管理はJAAPが行ないます。その費用は、プリント（ラムダ・クリスタルプリント）＋額装用マット（額サイズ裏打ち・画像面抜き）＋展示写真返送料など合計20,000円程度となります。

オリジナルのフィルムについてはプリント作業終了後に、展示プリントにつきましては、写真展終了後にお返しいたします。CD等デジタルデータは返却いたしません。

なお、写真展会場で使用する額は、会場に備え付けのものをを使用するため、額をご希望の応募者には、後日等寸類似の額を



〔上〕 在韓米空軍オサン AB にて、交差する韓国空軍 Black Eagles の T-50B。D5, 200-500mm (500mm) , f/6.3 1/1250, S, ISO160
〔右上〕 百里に來た飛行教導群の F-15DJ が、離陸後に戦闘モードでのバンクを見せる。D810 500mm f/10, 1/1000, S, ISO200
〔下〕 納入前の国産哨戒機 P-1 生産 12 号機の試験飛行。脚上げでローアプローチ。水平尾翼が主翼の上にあるレベル感のある姿を見せてくれた。D5, 500mm, f/7.1, 1/800, S, ISO100
〔右下〕 16 年 12 月、第 9 航空団発足を記念する那覇航空祭では、F-15J によるナイトのハイレート・クライムが展示された。高感度特性の優れたカメラを使いフラットな現像を行うと、アフターバーナーの炎の色が出てくる。D5, 500mm, f/4, 1/320, S, +320, ISO8000

合同審査会

写真展参加者全員で写真展を作るという観点から、今回も合同審査会を行ないます。

合同公開審査会は、6 月 10 日（土）午後に東京浜松町で、応募者のうちの希望者とともに行ないます。定員は 30 人、参加者には 3,000 円の会場費をご負担いただきます。参加希望者には、JAAP から開催場所・開催時刻についてご連絡いたします。

合同公開審査会では、なぜこの作品を選ぶのか、参加者にと

もに討論しつつ、セレクトを進めます。その作品の骨格、意図や着想を探り、その作品の長所・見所は何か、あるいはネガティブな要因・要素は何か、そこを克服・修正するにはどうしたらよいか、を語りつつ応募作を見ていきます。作品の撮影者は、その場で自らアピールポイントを語ってもらってもよいし、JAAP の方から質問もします。ある程度のトリミングや画像補正をすれば見違える訴求力を持つものについては、JAAP 会員が持ち帰って作業する、といったことも行ないます。撮影者と大きな画像のやりとりを行いますので、応募票のメールアドレスについては、それが可能な PC のアドレスにしてください。

このように合同審査会は、一般的なコンテストとはまったく異なる勉強会と考えています。

最終選考は合同審査会終了後の 1 週間内に、JAAP で行ないます。展示決定者にはその後ただちにお知らせしますので、写真展展示用画像データのご提出をお願いします。なお、展示プリントの制作管理については、一切を JAAP にお任せいただきます。

また、写真展にかかわる JAAP の活動については随時、JAAP ホームページや



Facebook でお知らせしてまいります。

なお、合同審査会終了後は、参加者とともにささやかな懇親会を予定しています。懇親会ではいつものようにスライドショー大会を行います。

新企画

まだ組織を挙げて取り組むには至っておらず、公式なものではありませんが、JAAP の分科会といえる撮影会を、会長の友人や過去の一般公募入選者の皆さんに声をかけ、試行的にやっています。この 2 月には旭川に出かけ、「旭川耐寒撮影会」を行いました。また夏には、「香港撮影会」を計画しています。

最低 1 日は、5~10 名の参加者が同じ飛行場で飛行機撮影を行い、その成果を Facebook の非公開グループ等で発表し合い、時には一堂に会してスクーリング（座学講習）を行います。作品の成果が思わしくなければ、当然再度の撮影会を行いますし、作品の成果が熟してくれば、ひとつのテーマをまとめた小さな写真展の開催へ発展させていきたいと思っています。むろん次回展への応募作とされてもかまいません。

また、ズームレンズ全盛の昨今、飛行機撮影を行う撮影者には、基準的焦点距離といった観念が希薄になってきているように思えます。飛行機写真の「標準レンズ」は 300mm というのが会長の持論ですが、固定焦点実効 300mm しか使わない撮影会（競技会？）を羽田か成田で行いたいとも考えています。ズームリングを回すより、まずは足で歩いて動こう、これこそ写真の基本、と考えているわけです。

ご興味ある方は JAAP 会長まで、自己紹介を添えてメールください。

